

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【芝川小・中・中等教育学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 算数科での各領域での課題が見えている。各学年課題となる領域は異なる。</p> <p><指導上の課題>課題が見えている領域では、重点的に適応問題に取り組む時間を設けているが、知識の定着に結びついていないことが課題である。</p>	<p>⇒</p> <p>各学年で課題が見えている領域を確認し、児童に実態に応じた指導を行っていく。また、「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、反復練習を行っていく。【R6年度さいたま市学習状況調査の算数の「知識・技能」に関わる領域において、R5年度の自校の結果より3pt向上させる。】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 算数科での課題が見えている。自身の考えに自信をもてず、他者に伝えることができていない</p> <p><指導上の課題> 児童一人ひとりの考えを共有したり、伝えたりする機会が多く確保できていないことが課題である。</p>	<p>⇒</p> <p>既習を生かしながら、自身で解決方法を決め、思考し問題を解く学習をこれまで通り行っていく【R6年度さいたま市学習状況調査の算数の「思考・判断・表現」に関わる領域において、R5年度の自校の結果より3pt向上させる。】 協働的な学びを積極的に取り入れ、他者と対話しながら答えを導き出す活動を取り入れる【R6年度さいたま市学習状況調査の「主体的・対話的で深い学び」に関する質問項目において肯定的な意見の割合を90%以上にする。】</p>

<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		<p>調査の振り返り(4月)</p> <p>①児童生徒による振り返り</p> <p>②調査問題の解説</p> <p>③振り返りの終了報告</p>
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)